2025年度（令和７年度）

　修士海外研究開発実践（リサーチ・インターンシップ）**【支援要項】**

【目的】　　グローバルに活躍できるイノベーティブな人材育成を目指すために開講する「修士海外研究開発実践科目」を履修し、3カ月（以上）の期間、海外の大学・研究機関・企業（研究所）等において修士研究テーマに関連したリサーチ・インターンシップを行う修士課程学生を支援する。

【支援内容】　　70万円を上限に旅費（国内外の交通費及び滞在費）を支援する。

【支援対象学生等】

1. 対象学生：修士海外研究開発実践（リサーチ・インターンシップ）を履修する日本人修士学生

※本プログラムにおける日本人とは、日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者を指す。

1. 支援人数：1人70万円を上限に、年間合計最大10名までを支援する。
2. 応募の条件
   1. 学業・人物とも優秀な者
   2. 派遣先におけるリサーチ・インターンシップに十分な語学能力があること
   3. 指導教員及び保証人（父母等）の了承を得ること
   4. 派遣先で積極的に研究開発を推進し、また、語学のレベルアップに取り組む意欲のあること
   5. 派遣先から渡航費及び滞在費の支援を受けないこと
   6. 日本学生支援機構（JASSO）トビタテ！留学JAPAN及びその他の給与型海外留学支援奨学金の奨学生でないこと
3. 選考

当該年度予算調整のため、**希望者は指定期間内に必ず、以下のスケジュールで示す期日までに①希望調査への回答及び②申請書類の提出をすること。**

申請書に基づき、書類選考により行う。応募人数が多数の場合など、必要に応じ面接を行う。  
なお、選考にあたっては、学部4年生次に海外実務訓練を行っていない者を優先する。

５．申請書類

5.1申請書（様式2）

5.2リサーチ・インターンシップ　実施見積り書（様式3）

**【申請から決定までのスケジュール】**

2025年度は、以下の日程を目安とする。

|  |  |
| --- | --- |
| 事　項 | 2025(R7)年度の派遣 |
| ①希望調査へ回答 | R7.4.28～R7.5.23 |
| ②申請書類の提出  （右記に示す申請の締切までに提出すること） | R7.5.23 |
| ③選考 | 5月下旬～ |
| ④選考結果通知 | 6月中旬～ |

【その他】

1. 旅費は、滞在先の宿舎（寮またはアパート等）の状況により、減額調整を行うことがあること。

以上

様式２

2025年度　修士海外研究開発実践（リサーチ・インターンシップ）

支　援　申　請　書

年　　月　　日

長岡技術科学大学長 殿

私は、修士海外研究開発実践（リサーチ・インターンシップ）の支援を希望するので、以下のとおり申請いたします。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分野・学年 | 工学分野　第　　学年 | | 学籍番号 | |  |
| ふりがな  氏　名 |  | | | | |
| 生年月日 | 年　　月　　日 | 性別 | | 男　・　女 | |
| 連絡先番号（携帯電話又は自宅） |  | | | | |
| 連絡先E-mail |  | | | | |
| 英語の語学力 | 実用英語検定試験（　　　級）　　TOEIC（　　　点）  TOEFL（　　　点）　　その他（　　　　　　） | | | | |

|  |
| --- |
| 【支援希望理由】（500字程度） |